



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第46号
令和4年 3月11日

6年生 みんなちがってみんないい①

～ミュタントウェーブさんとジェンダーについて学ぼう！～



全ての人に健康と福祉を

マイノリティーの人々が生活の質を得ることは、基本的人権です。



ジェンダー平等を実現しよう

男女の格差をなくすことは、持続可能な社会成長を促す上で欠かせません。



平和と公正を全ての人に

少数派の境遇を多数派が理解することで平和と公正は実現されていきます。

金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」の中に「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」という一節があります。人間を含め、地球上の全ての違いを認め「あなたはあなたでいい」とうたったものです。

私たちの暮らしている社会を作るのは、「男性」と「女性」だけではありません。いろいろな特徴や価値をもった人たちが成り立っています。

6年生の子供たちは、まもなく6年間一緒に過ごした仲間たちと別れ、それぞれの中学校へ進学します。中学校では、今まで以上に多様な特徴や価値観をもった人と接していくことになり

ます。卒業する子供たちに、差別をなくし、マイノリティーを含む全ての人々の可能性を引き出すことができる社会の一員となってほしいと願い、小学校生活の締めくくりになるようなSDGsの授業を計画し、ミュタントウェーブさんを講師としてお迎えしました。

ミュタントウェーブさんは、お話の中で「元でしこリーグ女子サッカー選手で、今は男性として生きている。」と自己紹介をしてくださいました。現在は、YouTuberとしてだけでなく、学校向けLGBT講演活動などを行い、活躍されています。

授業を行うにあたって、子供たちに事前アンケートをとりました。LGBTについて知っていると答えた児童は、数名でした。子供たちの実態を踏まえ、ミュタントウェーブさんは、LGBTについて、いろいろな性の在り方の頭文字をまとめた言葉だとわかりやすくお話をしてくださいました。

下記は、ミュタントウェーブさんのお話から抜粋したものです。

好きになる性が多数派(男女)と異なる人々

LESBIAN	レズビアン	(女性同性愛者)
GAY	ゲイ	(男性同性愛者)
BISEXUAL	バイセクシャル	(両性愛者)

TRANSGENDER トランスジェンダー (性別越境者)
体の性別に違和感を覚える人

セクシュアリティ(人間の性の在り方)については、次の4つの要素があることについてお話をしてくださいました。

- ①生物学的性(からだの性) 身体的な特徴に基づき生まれたときに判断される性別
- ②性自認(こころの性) 自分をどの性別だと思うか
- ③性的指向(好きになる性) 好きになる性であって、し好、趣味、性癖ではない
- ④性表現(表現する性) 服装、髪型、行動、振る舞いの社会的性



6年生の子供たちにとって初めて知る言葉が多く、比較的難易度の高い内容でしたが、芸能人の方々などの具体的な例を交えながらわかりやすくお話をしてくださり、セクシュアリティは、「一人一人が違い、誰一人同じ人はいない」ということを学ぶことができました。

ひと通りの知識を得た後、子供たちは、ミュートウェーブさんの3人「おおちゃん」「まさ」さん「あさひ」さんが、LGBTのうち、どれに該当すると思うかを考える活動をしました。

この時点で、子供たちにはYouTuberの3人とししか知らせていませんでした。下の写真は、これまでのお話から判断し、自分がそうだと思う場所ごとに分かれたものです。



多くの子供たちは、目もと髪型、服装、体型、声などから「GAY」または「BISEXUAL」ではないかと考えた子が多かったようです。



子供たちは、ミュートウェーブさんの3人が、「TRANSGENDER」であり、女性から男性に戸籍を変更した元なでしこリーグの女子サッカー選手だと知り、驚きの声をあげていました。

3人の幼少期からのお話から、女性から男性に戸籍を変更しているという共通点はあるものの、性的指向などに違いがあることなどについても知りました。

セクシュアリティは、一人一人が違い、誰一人同じ人はいない、「みんなちがってみんないい」ということの理解をより一層深めたと思います。

お話の最後に、子供たちからの質問時間もとってくださり、一つ一つの質問に丁寧に答えてくださいました。

次号では、子供たちの感想について紹介いたします。